

許せない!

際限のない減額狙う 年金カット法案の

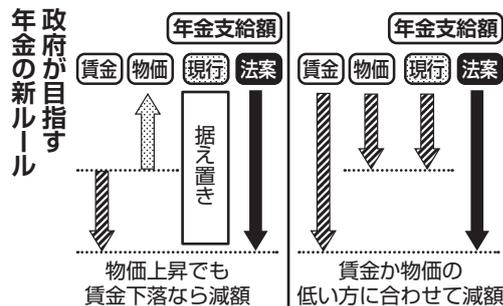
強行採決

安倍自公政権は、「年金制度の継続性の確保」「将来世代の年金給付水準を確保するため」と真っ赤なウソとペテンを並べ、臨時国会を強引に延長して年金カット法案を成立させる暴挙に出ています。この法案には6割近くの国民が反対しており、わずか19時間の衆議院審議で4野党の反対を押し切り強行採決しました。参議院でも、多数の国民が法案の内容が理解できないままの成立を狙っています。こうした安倍政権の暴走にストップをかけましょう。

減額され続けた年金 さらに減額狙う政府

年金はこの10数年間下げられてきました。今回の法案は2021年以降30年近くにわたって、物価が上がっても労働者の賃金が下がれば減額し、物価と賃金が下がれば下げ幅の大きい賃金に合わせて減額する年金カットのための新たなルールづくりです。

影響を受けるのは年金受給者だけではありません。新たに年金受給者となるすべての人にかかわる重大な問題です。政府のいう「世代間の公平性の確保」は詭弁です。



カ合わせストップ

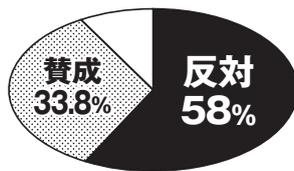
年金削減は、 高齢者の生活を直撃 若者の将来にとっても不安

高齢者は低年金に加え消費税増税や医療・介護保険料の値上げで、厳しい暮らしを強いられています。年金はほぼ100%が消費にまわっており、年金が削減されれば高齢者の暮らしが大変になるばかりか、結果として地域経済や地方財政にも深刻な影響を及ぼします。

現在非正規雇用労働者が4割を超え、年収200万円以下のワーキングプアが増大しています。地域経済の疲弊はこうした労働者の現在の賃金だけでなく将来の年金に影響をします。

国民の58%は法案に反対 参議院で廃案に

わたしたちは、若い人が「普通の暮らし」ができるよう非正規の正社員化、最低賃金の大幅引き上げを求める運動に連帯し、現在と将来に向かって誰もが「健康で文化的な生活」ができるよう年金カット法案に反対しています。いまこそ、社会保障解体を推し進める安倍自公政権を退陣させましょう。



共同通信社世論調査
11月25、26日実施

**法案反対の
国会行動に
参加しよう**

12月の集中行動

6日、8日、13日、14日
午前：傍聴
昼休：国会前座り込み
午後：傍聴



全日本年金者組合

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20 天翔大塚駅前ビル
TEL03-5978-2751 FAX03-5978-2777
E-mail:honbu@nenkinsha-u.org

年金者組合 検索